

【第 1 号議案】

第 2 4 期 事 業 報 告

（ 自 令和元年 6 月 1 日
至 令和 2 年 5 月 31 日 ）

I. 事業の概況

当社が事業主体である「マルシェ中市」については、出店から 9 年目を迎えた核テナントの新鮮市場（株とれとれ市場）及び川端・公設市場関係 11 店舗をはじめ、2 階は放課後児童クラブや企画運営会社 DERESI への貸出しなど、商店街の集客力向上に寄与できるよう事業推進を図り、健全な運営に向けて鋭意取り組みました。

また、補助事業の「山口市中心商店街における ICT 利活用による実証実験事業」は、フリーWi-Fi 機能を提供し、来街者の利便性向上を高めるとともに、利用者の行動分析を行い、データマーケティングに役立てようとするものです。

さらに、受託事業の「中心商店街賑わい創出事業」を実施し、中心商店街における新たな賑わいの創出や来街者の増加、多世代交流を行い、魅力発信ができました。

中心商店街へ来街者の利便性を図るため実施中の共通駐車サービス券事業は、年間利用枚数が、807,218 枚で、前期から 55,302 枚の減少となりました。

当社が管理運営する駐車場の入庫台数は、「中市第 2 駐車場」が 93,029 台、「西門前パーキング」は 13,505 台で、駐車料収入は 1,789 千円の減少となりました。

こうした中、第 24 期の事業収入は、51,309 千円（前期比 2,449 千円）で、営業利益は 1,581 千円となりました。経常損益段階では、2,042 千円の経常利益を計上し、最終の当期純利益は、1,402 千円（前期比 173 千円）の黒字決算となりました。

なお、マルシェ中市の固定資産の減価償却（3,733 千円）を行いました。

また、中国から発生し全世界へ波及したコロナウィルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が発せられる等、自粛規制が続き経済へ多大な影響を及ぼしたため、当社も駐車場経営及び共通駐車サービス券事業での停滞傾向がみられました。

II. 会社概要

商 号	株式会社 街づくり山口
会社の発行株式総数	1, 6 0 0 株
発行済み株式総数	額面株式 6 0 0 株
資本金の増加	平成 9 年 5 月 2 3 日 1, 0 0 0 万円を山口市に第三者 割当増資を実施
資本金の額	3, 0 0 0 万円

株主総数 25 名（令和 2 年 5 月 3 1 日現在）

山口商工会議所 1, 0 6 0 万円、山口市 1, 0 0 0 万円

中市商店街（振組）２００万円、（協組）米屋町振興会２００万円
山口道場門前商店街（振組）２００万円、萩山口信用金庫１００万円
㈱山口銀行１００万円、㈱西京銀行３０万円、山口市本町商店街（振組）
１０万円、大市商店振興会１０万円、山口新町商店街（協組）１０万円、
山口駅通り商店会１０万円、荒高商店振興会１０万円、湯田温泉旅館（協組）
５万円、ちまきやホールディングス㈱５万円、㈱中野会計事務所５万円、
㈱岸田時計店５万円、(有)末廣５万円、㈱近江屋５万円、㈱オオバクリエイティブ
５万円、㈱常盤旅館５万円、㈱藤本５万円、山口合同プロパン㈱５万円、
山口建設㈱５万円、齋藤宗房５万円

会社役員

取締役８名、監査役３名（令和２年３月１９日現在）

取締役会長 伊藤 和貴
代表取締役社長 北條 栄作
専務取締役 田邊 孝士
取 締 役 森生 信雄、川口雄一郎、江藤 寛二、坂本 公昭、大長 幹明
監 査 役 馬越 帝介、尼田 剛、小田村 哲

会議等

●会計監査 ／ 令和元年８月８日

第２３期会計（決算書類）について監査を受ける。

●第１０２回取締役会 ／ 令和元年８月２２日

第１号議案 第２３期事業報告並びに貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書の承認の件
第２号議案 取締役及び監査役選任の件
第３号議案 第２４期事業計画（案）の件

●第２３期 定時株主総会 ／ 令和元年８月２２日

第１号議案 第２３期事業報告並びに貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書の承認の件
第２号議案 取締役及び監査役選任の件
第３号議案 第２４期事業計画（案）の件

●第１０３回取締役会 ／ 令和元年８月２２日

第１号議案 役付取締役選任の件

●第１０４回取締役会 ／ 令和元年１１月１９日

第１号議案 中心商店街活性化を目的とした無線 LAN 装置・IoT 機器の設

- 置及び運用管理の件
- 第2号議案 共通駐車券の優待割引導入に関する措置及び中市第2駐車場の認証機設置における共通駐車券の事務軽減に伴う費用弁償の件
- [報告事項] 中市第2駐車場パーキングシステム機器の更新について
マルシェ中市の電力の供給事業者の変更について
マルシェ中市1階店舗の賃貸借契約の解除について

●第105回取締役会 / 令和2年3月19日

- 第1号議案 マルシェ中市の空調システム更新工事の件
- [報告事項] 共通駐車サービス券の取り扱いについて
中市第2駐車場の夜間利用対応について
マルシェ中市の賃貸借契約の締結について
マルシェ中市の賃貸借契約の解除について

Ⅲ．事業内容

1. 「マルシェ中市」管理運営事業

「マルシェ中市」は、山口市中心商店街の東の核である山口井筒屋の周辺基幹施設に位置付けられ、商店街の日常的な賑わいを創出する魅力的な商業施設として、平成23年4月21日に開業。現在、核テナントである「新鮮市場（株とれとれ市場）」、山口川端市場（11店舗）及び大殿地区放課後児童クラブ、株式会社 DERESI（新社屋へ3月末で移転）の計13店舗1団体が入居している。

《施設コンセプト》

当該施設は、「山口市中心市街地活性化基本計画」に掲げ、東の核づくりの一翼を担う施設として、既存の大型店や専門店の商業機能を補完・充実させるため、中心商店街に不足している生鮮食料品や飲食業の店舗を導入し、日常性が高く、来街頻度を重要視するとともに、地域に密着した施設として、商店街の集客力を高めることを目的としている。

《建築概要》

住 所	山口県山口市中市町3－8（旧アルビ跡地）
建物用途	店舗・公益施設
構造規模	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、地上2階
敷地面積	2,654.65 m ²
延床面積	1,700.63 m ²
駐 車 場	フラップ式無人駐車機を設置 [設置台数] 16台（内、1台福祉対応） 有料駐車場 但し、マルシェ中市の利用客は1時間無料
駐 輪 場	施設アーケード側 入口側面

《店舗概要》

開 店 日	平成23年4月21日（木）
店舗配置	1階 生鮮食料品の小売店 2階 レストラン
売場面積	1階 893.4 m ² 2階 206.18 m ²
公益施設	2階 65.64 m ² （不特定多数の利用を目的とするギャラリー等）
営業時間	[1階店舗] 9時30分～19時

店 休 日	新鮮市場（日曜・祝日）、山口川端市場（原則：日曜・祝日）
管理運営	株式会社街づくり山口 Tel 083-902-8788（マルシェ中市内 管理事務所）

《入居テナント》 令和２年５月３１日現在

店 舗 配 置		入居テナント	業 種	本社所在地
1階 生鮮食品 小売店舗	スーパー 1店舗	新鮮市場	スーパー	山口市
	川端・公設 市場関係 11店舗	石田鮮魚店	鮮 魚	山口市
		重枝鮮魚店	鮮 魚	
		(有)中岡商店	鮮 魚	
		(有)二宮鮮魚店	鮮 魚	
		(有)松西鮮魚店	鮮 魚	
		(株)米倉鮮魚	鮮 魚	
		池田商店	うなぎ蒲焼	
		八百果まつにし	青 果	
		ミツワ商店	食料品	
		万彩いしだ	惣 菜	
		特産 cafe やまのわ	飲食小売	
2階	1団体	放課後児童クラブ	サービス	山口市

2. 受託事業

■山口市中心商店街賑わい創出事業

(1) ①「山口街中商店街体験フェス」

期 間／令和元年8月3日

場 所／山口市中心商店街アーケード内

内 容／「ミッションをクリアして賞品をゲットしよう！」※参加無料
参加者それぞれに与えられるミッションをクリアして、その現場を
写真撮影し調査結果をレポート記入し、山口街中WEBサイト掲示
参加者全員に参加賞（加盟店でつかえる商品券300円分）進呈

参加店／34店舗

参加者 78組

②「ワークショップフェス」

期 間／令和元年8月3日

場 所／中心商店街各店舗

内 容／商店街の専門店ならではのワークショップ！」

大人をターゲットに商店街の店舗でのワークショップを開催

基本的には参加店舗内で実施※難しい場合は特設会場にて実施

時間、料金、定員は各店舗にて決定

参加店／9店舗（ワークショップ数14）

参加者／86名

(2) 「街中記者養成セミナー」

期 間／令和元年8月30日

場 所／Café&Bar ショクバ

内 容／大学生が主体となり企画、立案、取材、デザインまで行い、商
店街の広報物を制作するプロジェクトの中で、参加大学生を対象に
カメラマンとライティング、取材の技術をプロから学ぶセミナー。
カメラの操作方法や撮り方のテクニックを学んだ上で、実際の撮影
や原稿起こしを行い、講師からチェック・フィードバックを行った。

参加者／4名

(3) 「なかぴあいいものマルシェ」

期 間／令和元年11月2日

場 所／なかぴあ

内 容／中心市街地の新たなスポット「なかぴあ」の活用を図るととも
に、山口市内を中心とした生産者の販路拡大や商店街のにぎわい
創出を目的としたマルシェイベント。

参加店／9店舗、参加者／約100名

(4) 「山口街中映画祭」

期 間／令和元年 1 1 月 4 日

場 所／中心商店街内

会 場／中市コミュニティーホール Nac、天ぷらしらいし跡空き店舗

内 容／映画館の無い街の映画祭と題し、映画をフックに商店街へ新たな層の来場、そして回遊を目的とし、商店街内施設 2 会場で、3 本の映画を上映。上映後に渡される映画半券を商店街加盟店舗（3 2 店舗）の割引券として使うことができる。

また、映画評論家を招いたトークショーを実施した。

参加者／約 7 1 5 名

(5) 「秋の山口街中スタンプラリー」

期 間／令和元年 1 1 月 2 日～4 日

場 所／山口井筒屋（北海道物産展内）、山口県立美術館、山口中心商店街（なかびあ）

内 容／中心市街地で開催される秋のイベント（なかびあいいものマルシェ、HOLA!やまぐちスペインフィエスタ、山口街中映画祭）に合わせ、山口県立美術館や山口井筒屋と連携したスタンプラリーでの周遊企画。周遊スポット数に応じて、市内特産品等が当たるプレゼント企画。

参加者／2 7 2 名

(6) 「どうもんクリスマス抽選会」

時 期／令和元年 1 2 月 2 1・2 2 日

場 所／山口道場門前商店街（どうもん広場前）

内 容／道場門前商店街の各店舗で 3,000 円以上お買い上げごとに 1 回ガラポン抽選が出来る抽選会を実施。クリスマス時期の消費拡大及び「12 月、山口市はクリスマス市になる。」事業と連携し、クリスマスの雰囲気醸成することで賑わい創出をした。

(7) 「山農チャレンジショップ」

開催日／令和元年 1 2 月 2 2 日

場 所／なかびあ及びマルシェ中市前

内 容／山口農業高校と連携して実施した販売イベント。農業高校で生産した生鮮品や加工品をマルシェ中市の中庭で実施した。好評の物販市には長い行列ができるなど多数の来場者が参加した。

参加者／5 0 0 名

(8)「まちゼミ導入セミナー」

開催日／令和2年1月16日

場 所／山口商工会議所5階コミュニティホール

内 容／「三方よしのまちゼミ」をキーワードに商店街店舗の新規顧客獲得やリピーターづくりなどにつながる「まちゼミ」を実施する為、まちゼミのメリットや他都市での成功事例などを学ぶセミナーを実施。松井 洋一郎 氏（岡崎まちゼミの会 代表）まちゼミの目的やまちゼミを通じて何を達成したいか等の座学の後、ワークショップ形式で実際の講座内容を検討した。

参加者／25名

(9)「山口井筒屋チャレンジショップ」

開催日／令和2年2月2日、3月1日

場 所／山口井筒屋正面エントランス付近

内 容／山口井筒屋前のスペースで、販路拡大や商店街への出店を目指す事業者によるチャレンジショップを実施。

今後は毎月第一日曜日に継続開催し、近隣で開催中のコメコメマルシェ（米屋町商店街）やフリーマーケット（亀山公園）との人の流れの創出をめざす。

参加者／100名

■山口市中心市街地活性化人材育成事業

まちのにぎわいを維持していくためには、商店街の店舗の連続性は不可欠であり、今後、店舗等不動産の改修や取得が必要となる場合も見込まれる。その際の資金調達の手法・ビジネスモデルについて、制度概要や他市の事例を学ぶ勉強会を開催した。

- ①不動産特定共同事業について
- ②まちづくりファンド事業について

■山口市中心商店街魅力発信事業

中心商店街の集客数向上や継続的な賑わいの創出、魅力の向上を目的に、商店街の事業主や商店街組合、大学生等と連携し、来街者の増加や魅力発信に向けた広報プロジェクトを実施した。

- ①山口街中 WEB サイトのリニューアル、アプリの改修
- ②居酒屋マップ、コーヒーマップの制作と発行
- ③情報発信力強化勉強会の開催

■山口市の中心市街地に関するアンケート調査に係る集計・分析事業

中心市街地の現状や今後のあり方などについて、市民及びまちなか居住者のご意見を把握し、これからの中心市街地の活性化の取組に反映させることを目的としてアンケート調査を実施した。

- ①山口市の中心市街地に関する市民アンケート
対象者数：3,000 件、回収数：1,310 件（回収率 43.7%）
- ②山口市のまちなか（中心市街地）居住者アンケート
対象者数：1,000 件、回収数：435 件（回収率 43.5%）

■第3期山口市中心市街地活性化基本計画策定に係る調査業務

新たな中心市街地活性化基本計画の策定に向け、取組の方向性を検討・整理し、それらを実現するために必要となる具体的施策等を設定する為、下記項目に係る中心市街地の現状を把握することを目的として実施した。

- ①中心市街地エリア内駐車場状況調査
- ②中心市街地エリア内の活性化に寄与する空間調査

■「（仮称）まちづくり関係者 連携の場」運営業務

新たな中心市街地活性化基本計画事業の円滑な実施に向け、推進体制を見据えた主体による新たな連携体制の設置及びまちづくりの方向性を関係者で共有するために必要なコンセプト等の検討を目的として実施した。

- ①新たなまちづくり関係者の連携体制検討
- ②「（仮称）まちづくり関係者 連携の場」の試行

■山口市中心市街地を対象としたアンケート調査業務

中心商店街の事業者及び不動産所有者を対象として、空き店舗が生じる理由や対策へのニーズ、不動産の所有状況や街づくりへの意識等についてアンケート調査を実施するとともに、現状の把握、分析を行い、中心商店街における不動産購入に係る支援スキームの構築や、新たな中心市街地活性化基本計画を視野に入れたまちなみ規範の策定に向けた基礎資料とする為に実施した。

①山口市中心商店街事業者アンケート

対象者数：250 件、回収数：115 件（回収率 46.0%）

②山口市中心商店街不動産所有者アンケート

対象者数：289 件、回収数：141 件（回収率 48.8%）

■中心商店街空き店舗等利活用促進啓発事業

中心商店街の活性化を目的に、まちづくり関係者や出店希望者、不動産オーナー等に対するセミナーやワークショップ、展示等の啓発イベントや空き店舗内覧会を開催することにより、エリア内の遊休不動産の活用、空き店舗対策の促進を図ることを目的とした。なお、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、当初予定していた普及啓発イベントを中止し、事業内容を縮小した。

3. 共通駐車サービス券システム事業

山口市中心商店街の周辺に立地する 12 箇所の駐車場で共通利用できる共通駐車サービス券の発行事業を継続し、中心商店街への来街者の利便性向上に努めた。

■事業開始日 平成 12 年 7 月 20 日

■事業内容

- ① 加盟駐車場 12カ所
- ② 駐車台数 1,906台
- ③ 加盟店数 約240店
- ④ サービス内容 2千円以上お買い上げの方に1時間無料駐車券(100円)を1枚進呈。

ただし、高額なお買い物の場合、個店の自由裁量。

- ⑤ 年間利用枚数 807,218枚(令和元年6月～令和2年5月)

※前期比 55,302枚減少(93.6%)

内、コミュニティバス利用分 13,842枚

※平成15年3月からコミュニティバスを利用した買い物客に対しても共通駐車券1枚を進呈し、乗車券として使用している。

※平成16年8月から、ちまきや駐車場が加盟。

※平成20年4月から、中市第2駐車場を(株)街づくり山口が管理運営。

※平成20年10月から、旧ちまきや駐車場と中市駐車場が統合され中市井筒屋駐車場(駐車台数400台)となる。

※平成23年4月からマルシェ中市駐車場が加盟。

※平成27年9月から中市井筒屋駐車場で認証システムを導入。

※平成30年7月からトラストパーク道場門前駐車場が加盟。

※令和元年7月から中市第2駐車場で認証システムを導入。

※令和2年2月から大口需要者及び認証機設置割引を取り扱い。

※令和2年4月から道場門前菜花駐車場リニューアルオープン。

※令和2年5月から中市井筒屋駐車場において入口分離。

4. 駐車場管理運営事業

(1) 「西門前パーキング」の管理運営

西門前商店街振興組合から土地を賃借し、駐車場の管理運営を行う。

■管理業務開始年 平成17年

■事業内容

- ・駐車可能台数 25台
- ・営業時間 24時間 1時間100円 20:00~8:00【最大300円】
- ・年間駐車台数 13,505台(令和元年6月~令和2年5月)
(前期14,762台) 【参考】日平均37.0台

(2) 「中市第2駐車場」の管理運営

山口市所有の土地を使用し、駐車場の管理運営を行う。

■管理業務開始日 平成20年4月1日

■事業内容

- ・駐車可能台数 52台
- ・営業時間 24時間 1時間100円 18:00~9:00【最大400円】
- ・年間駐車台数 93,029台(令和元年6月~令和2年5月)
(前期99,168台) 【参考】日平均254.8台

(3) 「マルシェ中市駐車場」の管理運営

マルシェ中市に隣接する専用駐車場の管理運営を行う。

■管理業務開始日 平成23年4月21日

■事業内容

- ・駐車可能台数 16台
- ・営業時間 24時間 1時間200円、以降1時間100円
- ・年間駐車台数 48,657台(令和元年6月~令和2年5月)
(前期53,991台) 【参考】日平均133.3台

決 算 報 告 書

(第 24 期)

自 令和 1年 6月 1日
至 令和 2年 5月31日

株式会社街づくり山口

山口県山口市中市町 1 - 1 0

電話 : 083 - 902 - 3386

貸借対照表

令和 2年 5月31日 現在

株式会社街づくり山口

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	47,218,518	【流動負債】	5,171,612
現 金	143,770	未 払 金	3,900
小 口 現 金	14,777	未 払 費 用	4,223,570
普 通 預 金	35,895,750	未 払 法 人 税 等	375,400
定 期 預 金	5,000,000	未 払 消 費 税 等	424,000
前 払 費 用	321,442	前 受 金	66,000
未 収 入 金	5,872,779	預 り 金	65,446
貸 倒 引 当 金	-30,000	仮 受 金	13,296
【固定資産】	51,359,785	【固定負債】	57,489,500
【有形固定資産】	51,329,785	長 期 借 入 金	55,640,000
建 物	31,361,607	預 り 敷 金	1,849,500
建 物 附 属 設 備	11,293,288	負 債 の 部 合 計	62,661,112
構 築 物	5,380,342	純 資 産 の 部	
機 械 装 置	3,032,931	【株主資本】	35,917,191
工 具 器 具 備 品	261,617	資 本 金	30,000,000
【投資その他の資産】	30,000	利 益 剰 余 金	5,917,191
出 資 金	30,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	5,917,191
		繰 越 利 益 剰 余 金	5,917,191
		純 資 産 の 部 合 計	35,917,191
資 産 の 部 合 計	98,578,303	負 債 及 び 純 資 産 合 計	98,578,303

損 益 計 算 書

自 令和 1年 6月 1日
至 令和 2年 5月31日

株式会社街づくり山口

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
手 数 料 収 入	4,272,245	
駐 車 料 収 入	17,622,902	
受 託 料 収 入	10,377,084	
家 賃 収 入	18,361,253	
駐 車 券 売 上	675,529	
売 上 高 合 計		51,309,013
売 上 総 利 益 金 額		51,309,013
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		49,727,720
営 業 利 益 金 額		1,581,293
【営業外収益】		
受 取 利 息	903	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	3,260,782	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	41,000	
営 業 外 収 益 合 計		3,303,285
【営業外費用】		
支 払 利 息	1,222,630	
貸 倒 損 失	1,619,631	
営 業 外 費 用 合 計		2,842,261
経 常 利 益 金 額		2,042,317
税引前当期純利益金額		2,042,317
法人税・住民税及び事業税		640,200
当 期 純 利 益 金 額		1,402,117

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 1年 6月 1日
至 令和 2年 5月31日

株式会社街づくり山口

(単位： 円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	3,890,157	
雑 役 務 費	701,000	
賞 与	460,000	
法 定 福 利 費	540,928	
福 利 厚 生 費	37,599	
広 告 宣 伝 費	1,968,558	
旅 費 交 通 費	205,697	
通 信 費	207,723	
消 耗 品 費	261,907	
事 務 用 消 耗 品 費	652,629	
修 繕 費	1,925,022	
水 道 光 熱 費	3,868,713	
諸 会 費	75,000	
支 払 手 数 料	171,930	
地 代 家 賃	10,014,878	
賃 借 料	644,881	
リ ー ス 料	2,345,825	
保 険 料	233,550	
租 税 公 課	2,908,254	
支 払 報 酬 料	554,365	
減 価 償 却 費	3,733,408	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	30,000	
イ ベ ン ト 関 係 費	3,864,229	
駐 車 券 印 刷 費	1,086,656	
業 務 委 託 費	8,450,240	
事 務 委 託 料	752,713	
雑 費	141,858	
販売費及び一般管理費合計		49,727,720

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 1年 6月 1日
至 令和 2年 5月31日

株式会社街づくり山口

(単位： 円)

	株主資本												
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金			利 益 準備金	利益剰余金			自己株式	自己株式申込証拠金	株 主 資 本 合 計	
			資 本 準備金	その他 資 本 剰余金	資 本 剰余金 合 計		利 益 準備金	その他利益剰余金					利 益 剰余金 合 計
								別途 積立金	繰越利益 剰 余 金				
当期首残高	30,000,000	0	0	0	0	0	0	4,515,074	4,515,074	0	0	34,515,074	
当期変動額													
当期純利益金額								1,402,117	1,402,117			1,402,117	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	-	1,402,117	1,402,117	-	-	1,402,117	
当期末残高	30,000,000	0	0	0	0	0	0	5,917,191	5,917,191	0	0	35,917,191	

	評価・換算差額等				新 株 予約権	純資産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘッジ 損 益	土 地 再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	0	0	0	0	0	34,515,074
当期変動額						
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	1,402,117
当期末残高	0	0	0	0	0	35,917,191

個別注記表

株式会社 街づくり山口

自 令和元年 6月 1日

至 令和 2年 5月31日

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

3. 貸借対照表等に関する注記

資産項目別の減価償却累計額の金額	当 期	前 期
有形固定資産の減価償却累計額	23,264,808円	19,531,400円

前期比較貸借対照表

株式会社街づくり山口

(単位：円)

科 目	前会計年度末		当会計年度末		増 減	
	令和 1年 5月31日	現在	令和 2年 5月31日	現在	増減金額	増減率(%)
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)		
資 産 の 部						
【流動資産】						
現 金	143,770		143,770		0	0.0
小 口 現 金	14,777		14,777		0	0.0
普 通 預 金	37,225,498		35,895,750		-1,329,748	-3.6
定 期 預 金	5,000,000		5,000,000		0	0.0
前 払 費 用	395,311		321,442		-73,869	-18.7
未 収 入 金	7,576,255		5,872,779		-1,703,476	-22.5
貸 倒 引 当 金	-41,000		-30,000		11,000	-
仮 払 法 人 税 等	14,400		0		-14,400	-
流 動 資 産 合 計	50,329,011	49.2	47,218,518	47.9	-3,110,493	-6.2
【固定資産】						
【有形固定資産】						
建 物	32,489,373		31,361,607		-1,127,766	-3.5
建 物 附 属 設 備	12,448,247		11,293,288		-1,154,959	-9.3
構 築 物	1,608,304		5,380,342		3,772,038	234.5
機 械 装 置	4,032,030		3,032,931		-999,099	-24.8
工 具 器 具 備 品	25,839		261,617		235,778	912.5
建 設 仮 勘 定	1,238,400		0		-1,238,400	-
有 形 固 定 資 産 合 計	51,842,193	50.7	51,329,785	52.1	-512,408	-1.0
【投資その他の資産】						
出 資 金	30,000		30,000		0	0.0
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	30,000	0.0	30,000	0.0	0	0.0
固 定 資 産 合 計	51,872,193	50.8	51,359,785	52.1	-512,408	-1.0
資 産 の 部 合 計	102,201,204	100.0	98,578,303	100.0	-3,622,901	-3.5

前期比較貸借対照表

株式会社街づくり山口

(単位：円)

科 目	前会計年度末		当会計年度末		増 減	
	令和 1年 5月31日	現在	令和 2年 5月31日	現在	増減金額	増減率(%)
	金 額	構成比(%)	金 額	構成比(%)		
負 債 の 部						
【流動負債】						
未 払 金	25,500		3,900		-21,600	-84.7
未 払 費 用	4,174,515		4,223,570		49,055	1.2
未 払 法 人 税 等	91,300		375,400		284,100	311.2
未 払 消 費 税 等	665,700		424,000		-241,700	-36.3
前 受 金	59,335		66,000		6,665	11.2
預 り 金	292,360		65,446		-226,914	-77.6
仮 受 金	25,920		13,296		-12,624	-48.7
流 動 負 債 合 計	5,334,630	5.2	5,171,612	5.2	-163,018	-3.1
【固定負債】						
長 期 借 入 金	60,260,000		55,640,000		-4,620,000	-7.7
預 り 敷 金	2,091,500		1,849,500		-242,000	-11.6
固 定 負 債 合 計	62,351,500	61.0	57,489,500	58.3	-4,862,000	-7.8
負 債 の 部 合 計	67,686,130	66.2	62,661,112	63.6	-5,025,018	-7.4
純 資 産 の 部						
【株主資本】						
資 本 金	30,000,000		30,000,000		0	0.0
利 益 剰 余 金						
そ の 他 利 益 剰 余 金						
繰 越 利 益 剰 余 金	4,515,074		5,917,191		1,402,117	31.1
そ の 他 利 益 剰 余 金 合 計	4,515,074	4.4	5,917,191	6.0	1,402,117	31.1
利 益 剰 余 金 合 計	4,515,074	4.4	5,917,191	6.0	1,402,117	31.1
株 主 資 本 合 計	34,515,074	33.8	35,917,191	36.4	1,402,117	4.1
純 資 産 の 部 合 計	34,515,074	33.8	35,917,191	36.4	1,402,117	4.1
負 債 及 び 純 資 産 合 計	102,201,204	100.0	98,578,303	100.0	-3,622,901	-3.5

前期比較損益計算書

株式会社街づくり山口

(単位：円)

科 目	前会計年度		当会計年度		増 減	
	自 平成30年 6月 1日 至 令和 1年 5月31日	百分比(%)	自 令和 1年 6月 1日 至 令和 2年 5月31日	百分比(%)	増減金額	増減率(%)
【売上高】						
手 数 料 収 入	5,050,878		4,272,245		-778,633	-15.4
駐 車 料 収 入	19,412,877		17,622,902		-1,789,975	-9.2
受 託 料 収 入	5,840,014		10,377,084		4,537,070	77.7
家 賃 収 入	17,862,672		18,361,253		498,581	2.8
駐 車 券 売 上	692,966		675,529		-17,437	-2.5
売 上 高 合 計	48,859,407	100.0	51,309,013	100.0	2,449,606	5.0
売 上 総 利 益 金 額	48,859,407	100.0	51,309,013	100.0	2,449,606	5.0
【販売費及び一般管理費】						
給 料 手 当	3,754,805		3,890,157		135,352	3.6
雑 役 務 費	722,500		701,000		-21,500	-3.0
賞 与	440,000		460,000		20,000	4.5
法 定 福 利 費	562,920		540,928		-21,992	-3.9
福 利 厚 生 費	15,169		37,599		22,430	147.9
広 告 宣 伝 費	1,583,606		1,968,558		384,952	24.3
旅 費 交 通 費	33,336		205,697		172,361	517.0
通 信 費	204,083		207,723		3,640	1.8
消 耗 品 費	404,211		261,907		-142,304	-35.2
事 務 用 消 耗 品 費	562,220		652,629		90,409	16.1
修 繕 費	504,000		1,925,022		1,421,022	281.9
水 道 光 熱 費	4,022,104		3,868,713		-153,391	-3.8
諸 会 費	60,000		75,000		15,000	25.0
支 払 手 数 料	160,380		171,930		11,550	7.2
地 代 家 賃	10,013,415		10,014,878		1,463	0.0
賃 借 料	460,720		644,881		184,161	40.0
リ ー ス 料	1,215,361		2,345,825		1,130,464	93.0
保 険 料	250,170		233,550		-16,620	-6.6
租 税 公 課	2,911,891		2,908,254		-3,637	-0.1
支 払 報 酬 料	572,530		554,365		-18,165	-3.2
減 価 償 却 費	3,623,734		3,733,408		109,674	3.0
繰 延 資 産 償 却	3,706,343		0		-3,706,343	-
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	41,000		30,000		-11,000	-26.8
イ ベ ン ト 関 係 費	3,432,419		3,864,229		431,810	12.6
駐 車 券 印 刷 費	595,200		1,086,656		491,456	82.6
業 務 委 託 費	5,189,600		8,450,240		3,260,640	62.8
事 務 委 託 料	795,458		752,713		-42,745	-5.4
雑 費	217,109		141,858		-75,251	-34.7

前期比較損益計算書

株式会社街づくり山口

(単位：円)

科 目	前会計年度		当会計年度		増 減	
	自 平成30年 6月 1日 至 令和 1年 5月31日		自 令和 1年 6月 1日 至 令和 2年 5月31日		増減金額	増減率(%)
	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)		
販売費及び一般管理費合計	46,054,284	94.3	49,727,720	96.9	3,673,436	8.0
営業利益金額	2,805,123	5.7	1,581,293	3.1	-1,223,830	-43.6
【営業外収益】						
受 取 利 息	915		903		-12	-1.3
受 取 配 当 金	1,500		600		-900	-60.0
雑 収 入	357,759		3,260,782		2,903,023	811.4
貸倒引当金戻入益	31,000		41,000		10,000	32.3
営業外収益合計	391,174	0.8	3,303,285	6.4	2,912,111	744.5
【営業外費用】						
支 払 利 息	1,437,303		1,222,630		-214,673	-14.9
貸 倒 損 失	0		1,619,631		1,619,631	-
営業外費用合計	1,437,303	2.9	2,842,261	5.5	1,404,958	97.7
経常利益金額	1,758,994	3.6	2,042,317	4.0	283,323	16.1
税引前当期純利益金額	1,758,994	3.6	2,042,317	4.0	283,323	16.1
法人税・住民税及び事業税	530,400		640,200		109,800	20.7
当期純利益金額	1,228,594	2.5	1,402,117	2.7	173,523	14.1

部門別損益計算書

(令和元年6月1日～令和2年5月31日)

単位:円(税抜)

		本会計(管理部門)	マルシェ中市	共通駐車サービス券	西門前駐車場	中市第2駐車場	総計
事業収入	時間貸収入		1,084,601	804,330	2,275,132	13,119,839	17,283,902
	手数料収入			4,272,245			4,272,245
	月極収入		60,000		279,000		339,000
	受取家賃		18,361,253				18,361,253
	受託料収入	10,377,084					10,377,084
	駐車券売上		675,529				675,529
売上高(事業部門)		10,377,084	20,181,383	5,076,575	2,554,132	13,119,839	51,309,013
部門別事業費	役員報酬						0
	給料手当		3,010,157	880,000			3,890,157
	雑役務費		395,000	306,000			701,000
	賞与		420,000	40,000			460,000
	法定福利費		540,928				540,928
	福利厚生費	10,668	26,931				37,599
	広告宣伝費	1,830,176	138,382				1,968,558
	旅費交通費	172,811	32,886				205,697
	通信運搬費	149,539	58,184				207,723
	消耗品費		233,368		0	28,539	261,907
	事務用品費	551,140	70,489	1,100		29,900	652,629
	水道光熱費	170,573	3,589,270		32,703	76,167	3,868,713
	修繕費	0	1,799,822		55,200	70,000	1,925,022
	支払手数料	61,500	52,800	33,830	12,700	11,100	171,930
	保険料	3,380	204,810		21,790	3,570	233,550
	地代家賃	54,888	4,360,868		1,703,965	3,895,157	10,014,878
	賃借料		644,881				644,881
	リース料	146,400	843,164	3,061	97,200	1,256,000	2,345,825
	租税公課	25,008	2,883,213	20	6	7	2,908,254
	支払報酬料	524,365	30,000				554,365
	諸会費	75,000					75,000
	業務委託費	3,353,668	2,882,400		580,735	1,633,437	8,450,240
	事務委託費	752,713					752,713
	駐車券印刷費			263,979	318,677	504,000	1,086,656
	減価償却費		3,733,408				3,733,408
	繰延資産償却						0
	貸倒引当金繰入額		30,000				30,000
	イベント関係費	3,864,229					3,864,229
	雑費	52,891	88,967				141,858
	事業費合計	11,798,949	26,069,928	1,527,990	2,822,976	7,507,877	49,727,720
営業利益(部門別)		△1,421,865	△5,888,545	3,548,585	△268,844	5,611,962	1,581,293
	雑収入	2,979,679	281,103				3,260,782
	受取配当金	600					600
	貸倒引当金繰入額		41,000				41,000
	受取利息	553	65	141	49	95	903
	営業外収益	3,021,832	281,168	141	49	95	3,303,285
	支払利息	611,328	611,302	0	0	0	1,222,630
	貸倒損失		1,619,631				1,619,631
	営業外費用	611,328	2,230,933	0	0	0	2,842,261
経常利益(部門別)		988,639	△7,838,310	3,548,726	△268,795	5,612,057	2,042,317
	前期損益修正益						0
	特別収益						0
	固定資産除却損	0	0	0	0	0	0
	固定資産圧縮損						0
	特別損失						0
税引前当期純利益(部門別)		988,639	△7,838,310	3,548,726	△268,795	5,612,057	2,042,317
法人税等		640,200	0	0	0	0	640,200
当期純利益(部門別)		348,439	△7,838,310	3,548,726	△268,795	5,612,057	1,402,117

監 査 意 見 書

㈱街づくり山口第24期事業報告並びに決算報告について監査した結果、
帳簿等は適正かつ正確に処理されておりましたことを認めます。

令和2年8月5日

監査役 小田 村 監 

監査役

監査役

【第2号議案】取締役選任の件

株式会社 街づくり山口 定款（抜粋）

（取締役及び監査役の選任）

第16条 当社の取締役及び監査役は、株主総会において発行済み株式の総数の3分の1以上に当たる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数の決議によって選任する。

（取締役及び監査役の任期）

第17条 取締役の任期は就任後2年内の、監査役の任期は就任後4年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員で就任した取締役の任期は他の在任取締役の任期の満了すべき時までとする。

3 任期満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は退任した監査役の任期の満了すべき時とする。

新取締役（案）

村田 尚士（山口市経済産業部長）

〔任期〕令和2年8月21日～令和3年8月定時株主総会まで

藤本 浩充（山口市都市整備部長）

〔任期〕令和2年8月21日～令和3年8月定時株主総会まで

辞任取締役

江藤 寛二（前山口市経済産業部長）

※令和2年3月31日付で取締役を辞任

坂本 公昭（前山口市都市整備部長）

※令和2年3月31日付で取締役を辞任

【第3号議案】 監査役選任の件

株式会社 街づくり山口 定款（抜粋）

（取締役及び監査役の選任）

第16条 当社の取締役及び監査役は、株主総会において発行済み株式の総数の3分の1以上に当たる株式を有する株主が出席し、その議決権の過半数の決議によって選任する。

（取締役及び監査役の任期）

第17条 取締役の任期は就任後2年内の、監査役の任期は就任後4年内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員で就任した取締役の任期は他の在任取締役の任期の満了すべき時までとする。

3 任期満了前に退任した監査役の補欠として選任された監査役の任期は退任した監査役の任期の満了すべき時とする。

新監査役（案）

田中 勇（山口市議会 経済建設委員会 委員長）

[任期]令和2年8月21日～令和5年8月定時株主総会まで

西村 健一（山口銀行 常務執行役員）

[任期]令和2年8月21日～令和5年8月定時株主総会まで

辞任監査役

馬越 帝介（山口市議会 経済建設委員会 委員長）

※令和2年5月18日付で監査役を辞任

尼田 剛（山口銀行 専務取締役）

※令和2年6月25日付で監査役を辞任

【第4号議案】第25期事業計画（案）の件

㈱街づくり山口 第25期事業計画（案）

【令和2年6月1日～令和3年5月31日】

前期後半に発生したコロナウィルス感染症による猛威は凄まじく、世界を震撼させて経済活動に多大なる影響を及ぼし、景気の悪化から今もなお脱却できていない状況であり、今後はコロナウィルス感染症の予防に積極的に取り組むとともに、新しい生活様式の確立をめざし、経済の好循環を図っていかねばなりません。

さて、中心商店街は、長い歴史と文化が融合する地域で消費や交流が拡大する場として、多くの豊かな暮らしを支えてきました。今後も人口減少や少子高齢化が進展し、活力と住環境を保持し都市核と地域拠点を持続可能なネットワークで結び、相互に支えあうことの大切さが中心市街地において、より強く求められています。

本市では、快適で良好なサービスを提供するため、都市機能がコンパクトに集積した中心市街地の形成が重要であり、中心商店街は、消費行動を促すにぎわいの場であり続け、市街地の空洞化を防ぐとともに、公共空間を維持する取り組みを官民一体で進める必要があります。

こうしたことから、㈱街づくり山口は、主体的かつ先導的に中心市街地の活性化、特に商業の振興を通じ、都市機能の増進を図ることを目的とし、下記の事業を実施します。

記

1. マルシェ中市の運営

山口市中心商店街の東の核を形成する山口井筒屋の近隣商業施設であるマルシェ中市の健全な運営に向け、市場機能に特化した事業基盤の確立をめざし、省エネ等の推進に努め管理運営体制の充実及びコスト縮減による経営基盤の立て直しや安定を求め重点的に取り組むとともに、商店街の賑わいづくりに寄与すべく事業を地元商店街と協力し展開します。

2. 共通駐車サービス券システム事業

共通駐車サービス券の発行・回収・集計・集金等の管理業務の充実化を図るとともに、これまで駐車場利用者から要望の強かった目的地経路の不明確さや駐車場及び満車・空車情報の不足に応えるべく改善の検討を図ってきました。

特に、共通駐車サービス券取扱加盟の各駐車場と共同で取り組むもので、アマノマネージメントサービスからの提案によるデータセンターサービス事業（ナビゲーションサービス）については、9月末にシステム導入を図り、10月からの供用開始をめざしています。

これは、当社のホームページや㈱ナビタイムを介したナビゲーションサービスを活用するとともに、経営分析の推進を図ることはもとより、駐車場利用者へ各駐車場の満空情報の提供が的確に伝達できる等、商店街の魅力アップにもつながるよう事業を進めていきます。

3. 駐車場管理運営事業

- ① 西門前パーキングにデータセンターサービスを導入し、管理運営を行います。
 - ・駐車台数 25台
- ② 中市第2駐車場でデータセンターサービスを活用し、管理運営を行います。
 - ・駐車台数 52台
- ③ マルシェ中市駐車場にデータセンターサービスを導入し、管理運営を行います。
 - ・駐車台数 16台

4. 中心市街地賑わい創出イベントの実施

受託事業である「中心商店街賑わい創出事業」等を活用し、コロナウィルス感染症防止の観点から前期とは異なり、感染の状況等を注視しながら慎重に事業を進めなくてはなりません。

したがって、周辺集客施設と商店街の連携告知事業、産学連携事業を柱とする、中心市街地でのステージイベントの開催や各施設のイベントの準備を進めるものの、実施については、状況の推移を見守りながら適切な判断を行っていきます。

今期は、経済の回復基調を促すため、新しい生活様式に対応した商店街の個店PR・飲食店情報冊子の作成等を中心として事業を展開していきます。

5. 山口市中心商店街における ICT 利活用による実証実験事業

山口市中心商店街に共同研究者である山口大学理学部ネットワーク科学研究室が開発した無線 LAN アクセスポイントを設置し、フリーWi-Fi 機能を提供する。

観光スポットとの連携を図り来街者の利便性を高めるとともに、商店街利用者の分析を行い、中心市街地のまちづくりにおけるデータマーケティングに役立てます。

3年計画最終年度となる今期は、アクセスポイントを2店舗拡大し、実験店舗用web システムのコンテンツを作成したうえで、運用開始後に利用者データの収集や行動パターンの解析を行います。

6. 新しい生活様式導入事業の推進

当社では、国が示した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき山口商工会議所が定めた新型コロナウイルス感染症への対応を遵守しています。

社員の感染防止を図るため新たにテレワークシステムの導入や出張・協議を取り止めた場合、オンライン会議設備の導入が早期に図れるよう取り組みます。

7. 山口市中心市街地活性化協議会との連携強化

山口市中心市街地活性化協議会に積極的に参画するとともに、第3期山口中心市街地活性化基本計画策定の支援や協力をします。

また、これまでの調査研究を踏まえ、運営主体となってより具体的である商店街の店舗支援スキーム（案）の実現に向けて、山口にふさわしく快適で魅力ある生活環境づくりへの取り組みを着実に進めます。

以上